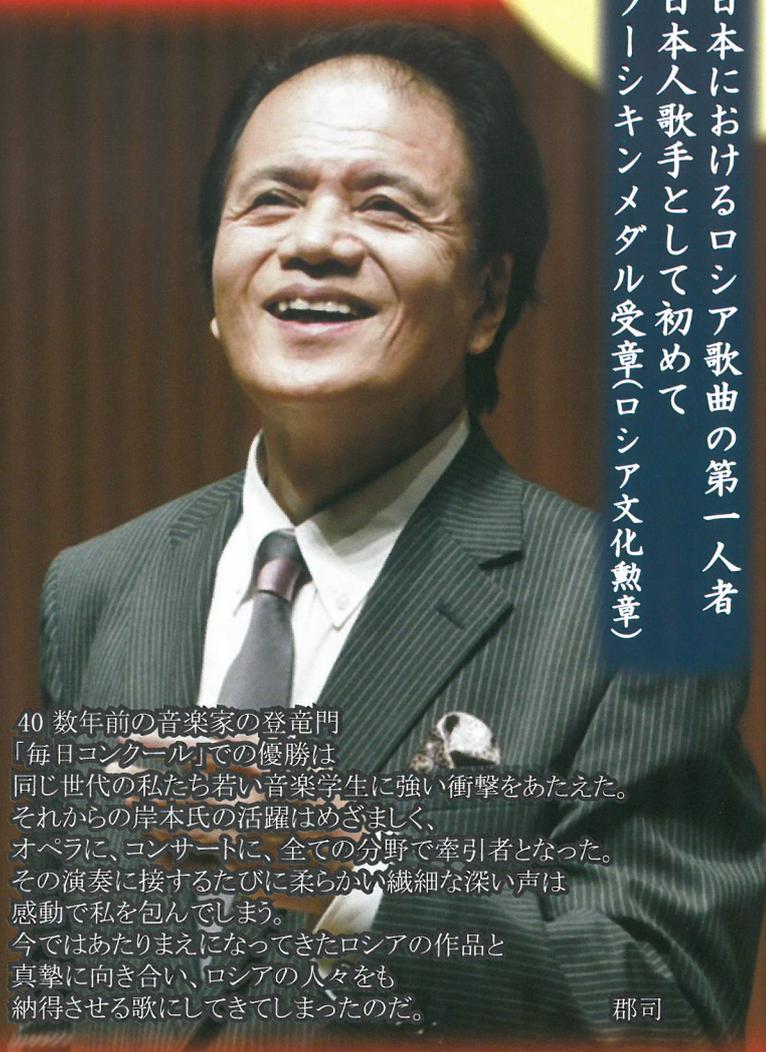


日本におけるロシア歌曲の第一人者  
日本人歌手として初めて  
プーシキンメダル受章(ロシア文化勲章)



40 数年前の音楽家の登竜門「毎日コンクール」での優勝は同じ世代の私たち若い音楽学生に強い衝撃をあたえた。それからの岸本氏の活躍はめざましく、オペラに、コンサートに、全ての分野で牽引者となった。その演奏に接するたびに柔らかい繊細な深い声は感動で私を包んでしまう。今ではあたりまえになってきたロシアの作品と真摯に向き合い、ロシアの人々をも納得させる歌にしてきてしまったのだ。

郡司

## 岸本カバズリサイタル

### 『ロシア民謡とロシア歌曲を歌う』

♪ 楽しいトーク付 ♪ 『トロイカ』は馱者の悲恋を歌ったバラードだった!?

【ロシア民謡】 トロイカ / 一週間 / どもしび / ステンカラーゼン / 道 / (他)

【ロシア歌曲】 チャイコフスキー: ただあこがれを知る者のみが / ラフマニノフ: ここはすばらしい

ムソルグスキー: 蚤の歌 / グリンカ: おじいさん! と娘たちはある時私にいった / (他)

(曲目は変更となる場合がございますご了承ください)



Reiko Ebhara

<ピアノ> 江原 令子

<賛助出演(ピアノ・ソロ)>  
江原 葵



Aoi Ebhara

2020年 4月29日(祝・水)

開演14:30 開場14:00

桐生市市民文化会館 小ホール

【全席自由】 前売り券: 一般2,800円 / 学生1,500円 (当日券は一律500円増し)

#### ■プレイガイド■

桐生市市民文化会館 0277-22-9999 太田市民会館 0276-57-8577 ヤマハミュージックレライティング桐生かきかけ店 0277-30-5225  
チケットぴあ 0570-02-9999 [コード 175447]

<お問い合わせ> のばら会 nobarakai2020@gmail.com



岸本 力(バス) Kishimoto Chikara

東京芸術大学卒業、同大学院修了。1973年、日本フィル『第九』、大阪フィル『森の歌』でデビュー。1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞、ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、『第九』『森の歌』などのバス・ソロ、1984年の「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」のリサイタルでは代39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは、『ボリス・ゴドゥノフ』、『夢遊病の女』、『魔笛』、『青ひげ公』、『セヴィリアの理髪師』、『モーツァルトとサリエリ』、『コシ・ファン・トゥッテ』、『フィガロの結婚』、『後宮からの誘拐』、『ドン・カルロ』、『シモン・ボッカネグラ』、『ペレアスとメリザンド』、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』、『修道院での結婚』、『シンデレラ』等、主演級で数々多く出演。1992年ショスタコーヴィチ作曲『交響曲第14番「死者の歌」(秋山和慶指揮／東響)にバス・ソロで出演。1993年には、タン・ドゥン作曲『オーケストラ・シアターⅡ:Re』(岩城宏之指揮／東響)の世界初演に出演し話題を呼んだ。また2003年、04年、06年日本フィル主催「ロシア民謡コンサート」を開催し成功をおさめた。キング・インターナショナルより『つかれた太陽—岸本力・ロシア民謡集』をリリース。2012年「プーシキン・メダル受章記念リサイタル」開催。2013年「デビュー40周年記念リサイタル」開催。2016年「第30回岸本力バス・リサイタル—ショスタコーヴィチ生誕110年記念」開催。ロシア音楽をライフワークにしており、未知の歌曲群の紹介、ロシア歌曲集の編集などの活動は目覚ましく、日本屈指のバス歌手であると同時に、ロシア音楽の第一人者である。2010年「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、わが国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をしたとして」文化庁長官表彰賞。2012年ロシアメドベージェフ大統領から、ロシア文化の振興への貢献を讃え日本人歌手として初めてのプーシキン・メダル(ロシア文化勲章)受章。2012年茨木市民栄誉賞受賞。2015年ロシア声楽コンクール主宰。本年9月23日(水)東京文化会館(小)にて第34回岸本力バス・リサイタル開催予定。武蔵野音楽大学、同大学院、桐朋学園大学大学院各非常勤講師。日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、チェコ音楽コンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。二期会幹事。日本・ロシア音楽家協会副会長。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。

昨年、江原令子さんから桐生市でリサイタルとのお誘いに、「私で良ければ！」と喜んでお返事させていただきました。桐生市での演奏は、約40年前に、地元出身の素晴らしいソプラノ歌手であった故・塚田京子さんとのジョイントコンサートで、江原さんと共演させていただいた以来です。今回、大好きなロシアの歌が皆さんの心に少しでも残るコンサートになれば嬉しいです。どうぞ「ロシアの哀愁」をお楽しみ下さい。



岸本 力

江原 令子(ピアノ)

Ebara Reiko



桐生市在住。武蔵野音楽大学音楽教育学科(ピアノ専攻)卒業。元・群馬県立桐生女子高等学校音楽非ピアノ演奏では、群馬交響楽団や東京都交響楽団の団員との「室内楽の夕べ」の友をを偲ぶ演奏会(故・塚田京子氏[ソプラノ]と故・岡本雅子氏[ヴァイオリン])等を開催。現在は、ピアノ指導や趣向を凝らした演奏会プロデュースや演奏活動(「チェンバロトークコンサート」、「やさしい訴え(第15、16章)」(小川洋子著)を舞台化。2014年チェンバロトークコンサート「音の絵画展」、有田千代子チェンバロリサイタル(4手共演)等々)を行う。また、依頼を受けて各地でチェンバロコンサートを行なっている。堀榮藏:制作のチェンバロを所有。ピアノを細谷路子、守田貞勝、福井棠子、高橋脩子の各氏に、ピアノ伴奏法を大場俊一氏に、声楽を中村綾子、A・ヴォルヒャルトの各氏に、作曲を藤本秀夫氏に、チェンバロを有田千代子氏に師事。のばら会主宰。日本チェンバロ協会会員。全日本ピアノ指導者協会会員。



江原 葵 (ピアノ・ソロ) Ebara Aoi

東京音楽大学ピアノ演奏家コースにてピアノと声楽を学ぶ。これまでに、大場俊一、黒川浩、故・堀江孝子、倉戸テル、播木枝未子、倉沢仁子、長川晶子、御木本澄子の各氏に師事。また、ウラジミール・トロップ、リュウボフ・チモフェーエワ、アヴォ・クムジャン各氏等、数多くの国内外のピアニストのマスタークラスを受講。声楽を五日市田鶴子氏に師事。

現在、独奏・室内楽にて、コンサート、イベント、記念パーティー等に出演すると共にピアノと歌の後進指導にあたっている。弘教寺コーラスひまわり指導者。クラシック音楽初心者からクラシック音楽ファンまで、子供から大人まで楽しめる心温まるコンサートを提供中。企画・出演・演出等を手掛ける《江原葵PRODUCE CONCERTシリーズ》は、毎回好評を博している。繊細な音色からダイナミックな音色表現には定評がある。バレエ・朗読・日本舞踊・等、異分野とのコラボレーション等の新しい試みにもチャレンジし、新たな音楽の可能性と魅力と歓びをシェアしている。著書:「青い月の魔法物語〜続編〜 Christmas Version」(イラスト:Roko) 2018年12月発行。